

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: (株)東京海上日動パートナーズ九州 熊本支店

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、1年に2回、経営理念の意味・意義について従業員全員で議論を実施している。 ・従業員は経営理念を理解し、その実現に向けて、取組を実施している。 ・経営目標は、定期的(全体会議・営業会議等)な会議の場で目標達成までの施策を策定している。 ・進捗管理を共有して、その達成に意欲的に取組を実施している。								8	9										17			
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルを策定している。 ・1年に2回、コンプライアンス研修を実施。また、月1回の会議で、ヒヤリ・ハット事例を基に法令遵守の重要性を発信。従業員の法令遵守に対する意識醸成を行っている。																			16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・保険業法に絡め、不正競争・不当な利益提供に関与しない様、研修で周知徹底を図っている。												10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として、各拠点・支社長を任命している。 ・保険代理店として、社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																					16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産保護について、社内通達・勉強会を定期的に行い、意識を醸成している。									8.2	9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・四半期に1度、情報セキュリティ研修を実施している。講義・テスト・セルフチェック実施により、従業員に個人情報の適切管理を徹底している。 ・取扱PCは、個人情報の漏洩を防ぐシステムを構築している。																					16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・「顧客本位の業務運営」実現の為、お客様からの声・アンケートを実施している。お客様の声・アンケートは、その内容から保険募集・保険商品の実態・顧客満足度を把握して、お客様に信頼される仕組み構築に努めている。 ・お客様への対応は、常に保険会社と連携した取組を進めている。																					16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・「人権啓発」「ハラスメント防止」研修をそれぞれ1年1回実施し、倫理面での適切な対応について、全従業員に共有。理解度確認の為、研修実施後は各テストを実施している。 ・ハラスメント・人権侵害対策に関しては、相談し易い環境構築の為、専用相談窓口を設置している。 ・保険契約手続き時の書類ペーパーレス化取組を2022年2月より開始し、お客様へご案内する申込書・証券・口座振替依頼書のペーパーレス化により、地球環境保護を推進している。					5					8		10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・BCP策定し、年に2回の安否確認等の訓練を実施している。														9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9											17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5							8					12	13	14	15	16

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: ㈱東京海上日動パートナーズ九州 熊本支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・各種ハラスメントの禁止について、就業規則で定めている。 ・年1回「人権啓発」「ハラスメント防止」研修を行い、全従業員に対して、差別・ハラスメント防止意識を醸成している。・差別・ハラスメントに関しては、社内で相談窓口を設置。相談し易い環境を構築している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・メンタルヘルスの確保及びコミュニケーション円滑化を図る為、毎週1on1ミーティングを実施。従業員の不安解消・前向きに行動出来る場の提供を行っている。 ・新型コロナウイルス感染防止の為、毎朝出勤前に、安否確認システムで「発熱有無」「体調確認」「家族の状況確認」を行い、異変が有る場合は自宅待機等を命じ、労働環境の安全性を確保している。			3				8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・社会保険労務士・派遣会社とも連携して、従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・有給休暇取得奨励、有給の他、特別連続休暇5日間を設定。従業員への心身リフレッシュを働きかけている。			3		5.5			8.5 8.8	10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「外部講師」「手上げ方式」「参加必須」「保険会社主催」と様々な研修体系が有り、能力開発・教育訓練の機会が充実している。 ・従業員の年間目標設定時、「学びのコミットメント」として、チャレンジして取得する知識を宣言させ、それを管理職が支援する体制が構築されている。 ・資格取得の報奨金制度が有る。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健康経営優良法人認定の認定を受けている。 ・健康診断・インフルエンザ予防接種の経費補助を行っている。 ・【予定】脳の活性化を促す為、毎朝、ラジオ体操を令和4年6月以降実施する。			3					8							17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない(東京海上グループ全体として宣言している。)				4.4	5.1 5.5			8.5	10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。	●		・感染症対策として、従業員は出勤時に体温計測・手指消毒を徹底している。また、来店客に対しても同様に徹底している。事務所内・会議室は、常に窓を開けを徹底している。 ・在宅勤務を導入し、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・会議は、ウェブが主流とし、真に必要な時は集合会議を実施している。			3					8	9.1	11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・デジタル推進担当者を設置。当該担当者を中心に、DXを推進している。 ・保険募集に関して、お客様にデジタル化(帳票電子化、アプリ導入、オンライン面談等)を進めている。 ・営業全員にタブレット配布。業務を事務所外で実施可能となり、移動時間短縮で生産性向上を見込んでいる。								8	9.1	11	12						
21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4			8	9		12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: (株)東京海上日動パートナーズ九州 熊本支店

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物は定期的に適切に処理している。			3.9		6.3				11.6	12.4		14.1	15.1									
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・【予定】簡易計算シートを用いて、温室効果ガス排出量・エネルギー使用量を算出・把握を令和4年6月以降実施する。 今後、交換する電気をLEDに変更して、電力使用削減に努める。							7.3					13										
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を算出・把握を令和4年6月以降実施する。 ・【予定】エアコンの適正な温度設定を令和4年6月以降実施する。 ・【予定】オンライン面談により、自動車使用頻度削減(ガスの排出量削減効果)を令和4年6月以降実施する。			2.4				7.2 7.3 7.a			12.4		13	14	15								
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に努めている。 ・【予定】海岸・河川清掃を令和4年11月に実施し、以降年に1回以上実施する。						6.6							14	15								
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内外でペーパーレス化(申込書・証券、社内打合せ資料のWEB化)を促進している。 ・再生紙利用を推進している。									9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15								
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・【予定】事業所内設備に節水器具設置を令和4年6月に実施する。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6					11.5		14.1 14.2 14.3	15						17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生紙利用を推進している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15								
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4					12.3		14	15						17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15						17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3								
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13			15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14								
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3								
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13							17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: (株)東京海上日動パートナーズ九州 熊本支店

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・お客様に「あんしんと安全」をお届けする為、事故削減取組案内(安全運転講習、健康経営優良法人認定支援等)・注意喚起(ハザードマップ案内、住宅修理詐欺注意等)を実施している。 ・募集品質向上の為、お客様の声・アンケート収集を積極的に取組み、その内容を関係者で共有して、更なる募集品質向上に繋げている。			3.9						9			12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・70歳以上の契約者・障がい者にはきめ細やかな対応(親族同席、親族の連絡先確認、複数回募集等)を実施している。 ・【予定】誰もが利用しやすく、配慮した(分かり易い案内・ボード設置等)対応を令和4年6月実施する。									9.1	10	11.7										17		
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●								7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15						17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15							
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		社会課題を解決する為、防災・減災の取組展開(お客様への情報提供【ハザードマップ案内】・商品提供【水災補償・感染症対策補償・サイバーリスク保険】)を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●											8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15					17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・【予定】海岸・河川清掃を令和4年11月に実施し、以降年に1回以上実施する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災・減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・会社としてBCPを策定している。大規模災害時の事業継続活動は、組織でフォローする体制が構築されている。 ・「震度5弱以上」「特別警報」等の重大な災害が発生した場合、安否確認システム活用により、従業員の安否を早期に確認する仕組みが有る。 ・従業員以上の防災セットを備蓄しており、年1回在庫状況を確認している。				4								11.5		13.1			16						
	45	【防災・減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●				1.5										10.2	11.5		13.1					16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●													9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・【予定】従業員にSDGsへの意識を浸透させる為、社内でSDGsに関する研修を令和4年7月に実施する。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●																8.6		10.2					17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●																	8.5 8.6							17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●																								17

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。